

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第5回幹事会議事メモ

- 1 日時：平成30年12月14日(金)11時00分～11時50分
- 2 場所：嘉ノ雅茗溪館 3階「あけぼの」
- 3 出席者：阿部（林会長の代理）、甘利（副会長）、清水（副会長）、遠藤
陪席者：前山（防災科学技術研究所）、平岡（セコム）、石濱（筑波大学）
その他：松原（〃）

（敬称略）

4 議事

- (1) 印章管理規則への追記について（案）（資料1）

- (2) 台湾 NCDR における運営委員会開催について（資料2）

- (3) シンポジウムの事前登録状況・参画機関参加状況について（資料3）

- (4) パネルディスカッション進行について（資料4）

- (5) その他

12時00分～13時30分	第4回運営委員会	嘉ノ雅茗溪館 4階「筑波」
14時00分～16時50分	第1回シンポジウム	嘉ノ雅茗溪館 2階「茗溪」
17時30分～19時00分	情報交換会	嘉ノ雅茗溪館 1階カフェスペース

（配付資料）

- | | | |
|-----|---------------------------------|-----------|
| 資料1 | レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 印章管理規則（追記案） |P.1～ |
| 資料2 | 第5回運営委員会（台湾）出欠回答リスト |P.3～ |
| 資料3 | シンポジウムの事前登録状況・参画機関参加状況について |P.5～ |
| 資料4 | シンポジウム当日スケジュール |P.7～ |

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 印章管理規則（追記案）

（ レジリエンス研究教育推進コンソーシアム運営委員会
平成 30 年 11 月 27 日制定 ）

（目的）

第1条 この規則は、レジリエンス研究教育推進コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）における印章の種類、新調、保管、使用等の基準について定め、これを統一的に管理することを目的とする。

（印章の定義）

第2条 この規則において印章とは、コンソーシアムが発行し、又は受理する文書、証憑等で、権利義務の行使若しくは履行又は官公署への申請、届出等に際し、コンソーシアム名又は職名で証明のために押す印章及び電子印鑑をいう。

（印章の種類及び印影）

第3条 印章の種類及び印影は別表のとおりとする。

2 会長は、前項に定める印章のほか、英文の文書、証憑等で使用するため、会長の氏名の英文サイン印章を作ることができる。

（印章の新調、改刻及び廃止）

第4条 印章の新調、改刻及び廃止は、会長の承認を得て事務局が行う。

（印章の管理）

第5条 印章の保管・押印に関する責任は、事務局が負うものとする。

2 印章は、盗難及び不正使用のないようすべて印章箱に納めて保管し、勤務時間外にあっては金庫その他確実な保管設備のあるものに保管し、かつ施錠しておかなければならない。

（印章の使用）

第6条 印章は、事務局でなければ使用することができない。

2 印章を押印する場合は、押印する文書と原議を対査しなければならない。

3 事務局は、前項の規定により印章を押印したときは、印章使用簿にその内容を記載しなければならない。

(印章の事故報告)

第7条 事務局は、保管する印章が盗難、紛失その他の事故にあったときは、直ちにその経緯について会長に報告するとともに、その指示を受けて所要の措置を講じなければならない。

(委任)

第8条 この規則に定めるもののほか、印章に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成30年11月27日から施行する。

別表（第3条関係）

種類	印影	表示文言及び寸法
コンソーシアム会長印	 A square seal with a double-line border. The text inside is in seal script (shōsho). The characters are arranged in two columns: the right column reads 'レジリエンス研究教育推進' (Resilience Research Education Promotion) and the left column reads 'コンソーシアム会長之印' (Consortium Chairman's Seal).	レジリエンス研究教育推進 コンソーシアム会長之印 一辺30mm程度の正方形

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第5回運営委員会（台湾）出欠回答リスト

12月13日15:02現在

【第5回運営委員会】

日程 2019年3月26日(火)-27日(水)

場所 National Science and Technology Center for Disaster Reduction (NCDR) Union Development Building (9F., No.200, Sec. 3, Beisin Rd., Xindian District, New Taipei City 23143, Taiwan (R.O.C.))

※ 第5回運営委員会には、リスク・レジリエンスセミナー、NCDR見学会、懇親会、防災関係施設等見学ツアーを含みます。

※ 航空奈代・宿泊代は筑波大学が負担します。

※ 3月26日(火)15:00-16:00 (JST) の会議のみ、Skypeによる出席も可能です。

※ 詳細は、別紙「台湾NCDRにおける運営委員会開催について（案）」（第3回運営委員会資料）をご覧ください。

※ 2018年12月10日(月)までに松原宛（matsubara@risk.tsukuba.ac.jp）ご回答ください。

機関	委員 (敬称略)	3月26日(火)- 27日(水) 出欠	プラン (別紙参照)	(B, Dプラン の場合) 25日の航空便 例：NH851	(C, Dプラン の場合) 28日の航空便 例：NH854	委員代理	3月26日(火)- 27日(水) 出欠	プラン (別紙参照)	(B, Dプラン の場合) 25日の航空便 例：NH851	(C, Dプラン の場合) 28日の航空便 例：NH854	簡席者	3月26日(火)- 27日(水) 出欠	プラン (別紙参照)	(B, Dプラン の場合) 25日の航空便 例：NH851	(C, Dプラン の場合) 28日の航空便 例：NH854
セコム	IS研究所 リスクマネジメントグループ グループリーダー 桂利 康文 研究開発センター 課長 佐渡 晶	現地にて出席	C (前泊なし 後泊あり)	NH852 松山 13:30-羽田 17:30			現地にて出席			NH852 松山 13:30-羽田 17:30	I S 研究所 主幹研究員 平岡 良彦	現地にて出席	C (前泊なし 後泊あり)		NH852 松山 13:30-羽田 17:30
大日本印刷						研究開発センター 前田 賢隆	現地にて出席	C (前泊なし 後泊あり)		NH852 松山 13:30-羽田 17:30					
日本電気	セキュリティ研究所 主任研究員 柳生 智彦	欠席													
スリーエム ジャパン	国土強靱化プロジェクト本部 統轄技術部長 飯野 諒司	現地にて出席	C (前泊なし 後泊あり)	NH854 松山16:50-羽 田20:40			現地にて出席				常務取締役 CTO Liu Qiao	現地にて出席	C (前泊なし 後泊あり)		NH854 松山16:50-羽 田20:40
DRIジャパン	理事長 長瀬 賢隆	欠席				DRIジャパン 理事 梶目 久美子	現地にて出席	C (前泊なし 後泊あり)		NH854 松山16:50-羽 田20:40		現地にて出席	C (前泊なし 後泊あり)		NH854 松山16:50-羽 田20:40
電力中央研究所	企画グループ 研究管理担当 スタッフ 上席 星川 英	欠席													
日本自動車研 究所	代表理事 研究所長 永井 正夫	欠席													
海上・港湾・航 空技術研究所	航空交通管理領域 領域長 中島 徳顕	現地にて出席	A (前泊なし 後泊なし)				現地にて出席								
電子航法研究 所	安全科学研究部門 研究部門長 榑方 雄一	現地にて出席	C (前泊なし 後泊あり)	NH852 松山 13:30-羽田 17:30			現地にて出席				安全科学研究部門 主任研究員 竹下 潤一	現地にて出席	C (前泊なし 後泊あり)		NH852 松山 13:30-羽田 17:30
防災科学技術研 究所	理事長 林 孝男	現地にて出席	C (前泊なし 後泊あり)	NH5808 (桃園-成田)			現地にて出席				企画部 部長 阿部 浩一 企画部 次長 水長 中島 壮一 企画部社会連携課 係員 前山 明輝	現地にて出席	C (前泊なし 後泊あり)		NH5808 (桃園-成田) NH5809 (桃園-成田) NH5810 (桃園-成田)
労働者健康安全 機構 労働安全 衛生総合研究所	災害調査分析センター センター長 池田 博康	欠席													
NCDR (台湾)		現地にて出席					現地にて出席								
筑波大学	教育担当副学長 清水 諭 学位プログラムリーダー システム情報系 教授 リスク工学専攻長 遠藤 典典	Skypeにて出 席									システム情報系 教授 岡島 敬一 システム情報エリア支援室 支援室長 石濱 悟	現地にて出席			NH852 松山 13:30-羽田 17:30

シンポジウムの事前登録状況・参画機関参加状況について

平成 30 年 12 月 13 日(木)14 時 43 分現在

日程：平成 30 年 12 月 14 日(金)

場所：嘉ノ雅茗溪館

○第 4 回運営委員会【定数 8】

出席 9	セコム、大日本印刷（代理）、DRI ジャパン、日本自動車研究所、電子航法研究所、産業技術総合研究所（代理）、防災科学技術研究所、筑波大学（清水代理・遠藤）
欠席 4	日本電気、スリーエム ジャパン、電力中央研究所、労働安全衛生総合研究所
未回答 1	NCDR

○シンポジウム事前登録（12/2 締切）

合計 100 人（うち情報交換会参加 40 人）

【うち参画機関】

登録済 8 機関 <u>42 人</u> （うち情報交換会参加 28 人）	セコム 7 人、日本電気 1 人、スリーエム ジャパン 1 人、DRI ジャパン 4 人、日本自動車研究所 2 人、電子航法研究所 1 人、防災科学技術研究所 5 人、筑波大学 21 人
欠席連絡 4 機関	スリーエム ジャパン（ただし事前登録者あり）、電力中央研究所、産業技術総合研究所、労働安全衛生総合研究所
未登録 2 機関	大日本印刷、NCDR

【うち一般】

登録済 <u>58 人</u> （うち情報交換会参加 12 人）	竹中工務店、警察大学校警察政策研究センター、合同会社西友、リスク・フロンティア、国立研究開発法人建築研究所、参天製薬株式会社、株式会社大林組、三井住友海上火災保険株式会社、長尾産業株式会社、株式会社アカリク、総合警備保障株式会社、凸版印刷株式会社、株式会社電波タイムス社、株式会社建設技術研究所、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社、千葉市花見川区幕張町 4 丁目町内会・防災会、日本空港無線サービス株式会社、大阪府立大学工学研究科航空宇宙分野小木曽研究室、済生会横浜市東部病院、積水ハウス(株)渉外部、大日本コンサルタント（株）関東支社、日本オラクル株式会社、成田国際空港株式会社、株式会社アーキテクト、DRI 評議員 熊谷組 リスカーレ・コンサルティング、近畿大学理工学部情報学科、affirmativeArchitect、東京都下水道局東部第二下水道事務所、筑波技術大学、株式会社日立製作所、大阪大学大学院医学系研究科、大阪大学、防衛省防衛装備庁、有限会社メディア
-------------------------------------	---

	ロジック、茨城県政策企画部交通局交通政策課、宇宙航空研究開発機構、以上 37 機関各 1 人 所属記入なし：21 人
--	---

○シンポジウムパネルディスカッション登壇

登壇 7	セコム 目崎 祐史（めさき ゆうじ） IS 研究所 所長 日本電気 谷 幹也（たに みきや） セキュリティ研究所 所長 DRI ジャパン 長瀬 貫隆（ながせ かんりゅう） 理事長 日本自動車研究所 永井 正夫（ながい まさお） 所長 電子航法研究所 中島 徳顕（なかじま とくあき） 航空交通管理領域長 防災科学技術研究所 林 春男（はやし はるお） 理事長 筑波大学 清水 諭（しみず さとし） 副学長（教育担当）・理事 (敬称略)
辞退 5	大日本印刷、スリーエム ジャパン、電力中央研究所、産業技術総合研究所、労働安全衛生総合研究所
未回答 1	NCDR

○シンポジウム総合ブース出展

パンフレット設置 5	セコム、DRI ジャパン、産業技術総合研究所、防災科学技術研究所、筑波大学
ポスター掲示 1	防災科学技術研究所（A0・2 枚）
実演実施 0	
ロールアップバナー設置 1	セコム
辞退 5	大日本印刷、日本電気、スリーエム ジャパン、電力中央研究所、労働安全衛生総合研究所
未回答 2	電子航法研究所、NCDR

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第1回シンポジウム当日スケジュール

日程：平成30年12月14日(金)

場所：嘉ノ雅 茗溪館（東京都文京区大塚1-5-23、東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩1分）

【次第】

第5回幹事会 3階「あけぼの」	
10:30-11:00	幹事会出席者用 受付・会計（2階「茗溪」前） ※講演者ノート PC 動作接続確認
11:00-12:00	第5回幹事会
第4回運営委員会 4階「筑波」	
11:30-12:00	運営委員会出席者用 受付・会計（2階「茗溪」前）
12:00-13:30	第4回運営委員会 ※弁当・お茶有
第1回シンポジウム 2階「茗溪」 司会 岡島 敬一（筑波大学 システム情報系 教授）	
第1部 自然・人間社会・サイバー空間に存在するリスクとレジリエンス	
13:00-14:00	一般受付・会計（2階「茗溪」前）
14:00-14:05	開会挨拶 清水 諭（筑波大学 副学長（教育担当）・理事）
14:05-14:30	自然災害のリスクに対するレジリエンスの向上 林 春男（防災科学技術研究所 理事長）
14:30-14:55	日本で起こる事件・事故に深く関わる「世間」という構造 甘利 康文（セコム株式会社 IS 研究所 リスクマネジメントグループ グループリーダー）
14:55-15:20	情報通信技術(ICT)の進化とサイバーリスク 面 和成（筑波大学 システム情報系 准教授）
15:20-15:50	コーヒーズブレイク ※コンソーシアム個別相談ブース有（岡島教授ほか） ※総合ブース出展機関は適宜来場者に説明してください。
第2部 レジリエンス社会の実現に貢献する人材育成	
15:50-16:00	コンソーシアムが推進する大学院教育～協働大学院方式による新たな学位プログラム～ 遠藤 靖典（筑波大学 システム情報系 教授、リスク工学専攻長）
16:00-16:45	コンソーシアム参画機関によるパネルディスカッション モデレーター 遠藤 靖典（筑波大学） 登壇者 目崎 祐史（セコム）、谷 幹也（日本電気）、長瀬 貫隆（DRI ジャパン）、永井 正夫（日本自動車研究所）、中島 徳顕（電子航法研）、林 春男（防災科研）、清水 諭（筑波大学）
16:45-16:50	閉会挨拶 谷 幹也（日本電気株式会社 セキュリティ研究所 所長）
16:50-17:30	※コンソーシアム個別相談ブース有（岡島教授ほか）
情報交換会 1階カフェスペース	
17:30-19:00	（参加費 2,000 円、要事前登録）